

事業承継のいくつかの経験から
税理士事務所の承継と顧問先の事業承継と

浅見担当分のレジュメ 20200731

1、税理士の事業承継

- (1) 失敗に学ぶ
- (2) ほかの事例
- (3) これからは個人か？法人か？
- (4) 税理士制度は存続するのか？

2、顧問先の事業承継

自分の事業承継に意識があるなら 顧問先にも考えるだろう 逆も
それが税理士という職業についての義務だと思うが

(1) 事業承継可能性の前面の経験から

- ① 麺製造販売 過去
社長死亡 赤字会社 奥さん
- ② 建設会社 途中
社長69歳 息子2名参加 事業承継税制適用
- ③ オリーブオイル輸入販売 現在
事業譲渡したい 引き継ぎ時間5年計画
- ④ 中小企業無用

(2) 税理士（士業）による事業承継の手伝いについて失敗しないために

- ① 手伝いである
- ② 企業の中身を知っているのは？
- ③ 逃げない
- ⑤ 小企業の運営者は自分で考えない（同じかな）

(3) 手段 目的ではない

- ① ②

(4) 新規開業と事業承継（引継ぎと合流と）

- ① 一人で開業する時代？
- ② トップを取りたいから一人でする？

3、まとめと課題の提案

- ① 自分の事業承継を考えていますか？（年齢関係ない）
- ② 顧問先お客の事業承継を考えていますか？（話していますか？）
- ③ 失敗の例の解決策を考えてください。
- ④ 失敗しなかったケースの更なるレベルアップを考えてください。
- ⑤ 事業承継のポイントは何かと思いますか？